

小児がんなど病気と向き合う子どもたちの“新たな居場所”づくり

～メタバース交流企画第2弾～

横浜市では、小児がん^{※1}等の病気と向き合う子どもたちが、安心して過ごせる“新たな居場所”づくりを目的として、メタバース空間を活用した交流事業を展開しています。

令和7年度は、小児がんと向き合う子どもたち^{※2}や保護者が不安や悩みを相談できる相手・場所として、メタバースを活用した交流の機会を定期的に設け、何度も参加できる居場所づくりを目指しています。

このたび、メタバース交流企画第2弾として、「お菓子づくり」をテーマに開催します。「横浜スイーツ＆カフェ専門学校」の協力のもと、メタバース空間でグループごとに参加者が考えたオリジナル焼き菓子を同専門学校の学生が実際に製作し、参加者へプレゼントします。子どもたちの創造力が形になる体験を通じて、楽しみながら交流を深めることができます。

※1 小児期（一般的に15歳未満）にかかる、さまざまな「がん」の総称。

令和2年の1年間にがんと診断された0歳から14歳の人数は、全国で2,080人、横浜市で49人。

※2 小児がんの治療中の子、経験者、そのきょうだい

1 交流企画第2弾：「メタバースでお菓子づくり！？」

(1) 開催日時

令和7年10月4日（土）15:00～16:00

(2) 対象者

小児がん等の病気と向き合う子どもたち

(3) 定員

30名（応募多数の場合は横浜市在住の方優先とし、抽選となります。）

(4) 参加方法

自宅や病院・施設からのオンライン参加

(5) 内容

横浜市メタバース空間でお菓子づくりに関するレクチャーを受け、グループで相談して焼き菓子の味やトッピングを考えます。グループで考案したオリジナル焼き菓子は後日、「横浜スイーツ＆カフェ専門学校」の学生が実際に製作し、参加者へプレゼントします。さらに、同専門学校のウェブサイトでも販売します。

(6) ウェブサイトでの販売（予定）

予約受付期間：10月8日（水）～10月14日（火）

発送日：10月16日（木）

(7) 参加申込締切

10月1日（水） ※申込方法などの詳細は、別紙1チラシをご確認ください。

(8) 当日の取材

「横浜スイーツ＆カフェ専門学校（神奈川区西神奈川1-7-5）」での取材が可能です。取材をご希望の報道機関の方は10月3日（金）11:00までに、別紙2取材申込書にてお申込みいただくな、別紙2取材申込書の項目をメール本文に記入のうえお申込みください。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 (参考) これまでの取組状況

(1) 「YOKOHAMA スペースアドベンチャー」

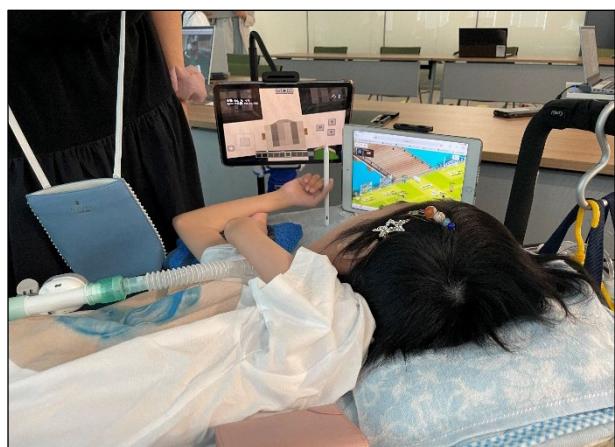
令和6年8月21日にメタバースによる交流を試行実施し、参加者18人がチームで協力しながらクイズやパズルなどのゲームを行いました。

(2) 「LUNARCRAFT（ルナクラフト）※3」ワークショップ

令和7年7月29日にワークショップを開催し、23名が参加しました。月に関する特別授業を受けた後、5～6人のグループで協力して「ルナクラフト」で探索や建築にチャレンジすることで、参加者同士のコミュニケーションの活性化を図りました。

※3 「マインクラフト」をプラットフォームとしてJAXA宇宙教育センターが開発した、月世界を体感し探査・開拓できる教材

【「LUNARCRAFT（ルナクラフト）」ワークショップ 当日の様子】



(3) 「メタバースでおしゃべり会～夏の思い出～」

令和7年8月22日に初めて、参加者同士のコミュニケーションを中心とした交流会を開催し、5名が参加しました。アットホームな雰囲気で、クイズやたき火を囲みながらのトークセッションを行いました。

【「メタバースでおしゃべり会～夏の思い出～」 当日の様子】



お問合せ先

医療局がん・疾病対策課長 三室 直樹 Tel 045-671-2957



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

